まちの話題

いっしょに考えよう！大切なエネルギー！

高知県水力発電１００周年

明治４２年２月１１日に、高知県初の水力発電所である土佐山田町の平山発電所が送電を開始してから１００年。この発電所は、吉野川水系の水を香長平野に引くために造られた甫喜ケ峰疎水を活用し、県営企業として全国で初めて稼動しました。昭和初期まで高知市などの最大電源であり昭和２６年に四国電力へ移管されたあと昭和５１年に停止し、現在は新平山発電所として生まれ変わり、クリーンな循環エネルギー電力の安定供給に貢献しています。

２月11日、高新ＲＫＣホールで高知県水力発電事業100周年記念シンポジウムが開催されました。同シンポジウムは四国電力㈱や住友共同電力㈱、高知県、香美市などで構成された実行委員会の主催で行われました。当日は水力発電・ダム・堰をテーマとした「水のちから」写真・絵画コンテストの表彰式や、高知県電気事業の歴史の紹介がされ、小学生による「わが町わが村の水力発電所」をテーマにした発表に、香美市から大宮小・香長小の児童が参加しました。発表の後、「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」と題して、明治大学教授の北野大さんの記念講演が行われました。

北野先生の講演

当たり前のことを当たり前に
～人権教育は誰のためにするのか～

２月25日、ふれあい交流センターで「ふれあいじんけん学習会」が開催されました。講師の解放社会学研究所所長の江嶋修作先生から「差別をなくすのは自分のためであり、自分の人権感覚を研ぎ澄ますためである」という話を聞き、参加者は、一人ひとりが自分のこととして人権問題に向き合うことの大切さを学びました。

香美市男女共同参画プラン
ささえあいのまちづくり懇談会

「男女共同参画・ささえあいのまちづくり懇談会」が２月17日（保健福祉センター香北）、20日（物部支所）に開催されました。

懇談会は、昨年度策定した「香美市男女共同参画プラン」の実施について、市民へ理解と協力をお願いするために開催されました。プラン策定委員のほか、「ＮＰＯ法人男女共同参画ポレール」から中平公哉さんと松田高政さんが参加し、身近な男女共同参画の話を交えながらプランの説明を行いました。日ごろ、生活の中にあるいろいろな男女共同参画の視点について話し合われました。